

## 特集

# 「長寿・子育て・障害者基金」 特別分複数年助成事業及び 地方分モデル事業

独立行政法人福祉医療機構では、政府からの出資による「長寿・子育て・障害者基金」を設け、その運用益により、社会福祉の振興等に取り組み民間団体の活動に対して助成を行っており、団体の規模や内容によって「一般分助成」、「特別分助成」、「地方分助成」に分かれています。

今回は、助成事業のうち、特別分の「複数年助成」と平成19年度から新設された地方分の「地方分モデル事業助成」の事業例をとりあげます。

「複数年助成」の事業例としては、平成18年度から19年度にわたって「小規模多機能サービス拠点を核にした地域ネットワークづくり事業」を行った特定非営利活動法人コレクティブにお話を伺い、複数年で助成を受けたからこそ実現できたことについて教えていただきました。

「地方分モデル事業助成」の事業例としては、平成19年度に「携帯電話メールによる子育て情報配信事業」を行った団体の中から3団体を選び、比較検討してみました。

### 複数年助成とは

平成18年度募集分から、特別分助成（獨創性または先駆性があり、かつ普遍性のある事業）のうち、実施に2か年を要する事業または事業を2か年継続することで効果や成果が発揮される事業については、次の2つの条件を満たす場合に限り、複数年（原則2年）助成をすることとなりました。

- ① 重点助成分野に該当する事業
- ② 2年以上の活動実績がある団体が実施する場合

なお、平成20年度募集分からは、地方分助成（地域で活動するボランティア団体等地域の实情に即したきめ細かな事業）においても複数年助成を行うこととしました。

### 地方分モデル事業助成とは

平成19年度募集分から、従来の地方分とは別枠で「地方分モデル事業助成」を新設しました。これは、過去に助成した事業のうち、さらに発展させることが望まれる事業をモデルとなる事業として抽出し、積極的に全国に助成を通じて普及することを目的に別に定める事業を対象としています。

平成19年度は、子育て支援基金の「携帯電話メールによる子育て情報（防犯・防災、イベント、感染症・医療、食品・食中毒等）配信事業」を対象事業として助成しました。なお、平成20年度以降も、時宜に応じたテーマが選定されています。

特別分複数年助成事業

# 小規模多機能サービス拠点を核にした地域ネットワークづくり事業

特定非営利活動法人コレクティブ（熊本県熊本市）

## 先進地域を見学し 住民の意識を高める

特定非営利活動法人コレクティブでは、平成18年度から19年度に特別分複数年助成を受けて「小規模多機能サービス拠点を核にした地域ネットワークづくり事業」を実施しました。

2年間の助成のおかげで、熊本県山鹿市にある小規模多機能施設「いつでんどこでん」の運営を、地域住民主体のNPOに移行させることができました。

特定非営利活動法人コレクティブは、介護保険法施行1年前の平成11年に設立されました。

利用者が普通の生活を維持できるように、グループホーム「きなつせ」を熊本市で開設しましたが、地域住民との結びつきを深めるのは容易なことではありませんでした。

そこで、「地域の中で、地域の人による、地域のための安心拠点」をめざし、平成15年、熊本県山鹿市に小規模多機能拠点「いつでんどこでん」を開設しました。

開設当初から「どういうことが望まれているのか」を地域の人と話し合い、利用者が地域に出かけていくうちに、地域の人々と顔なじみの関係に

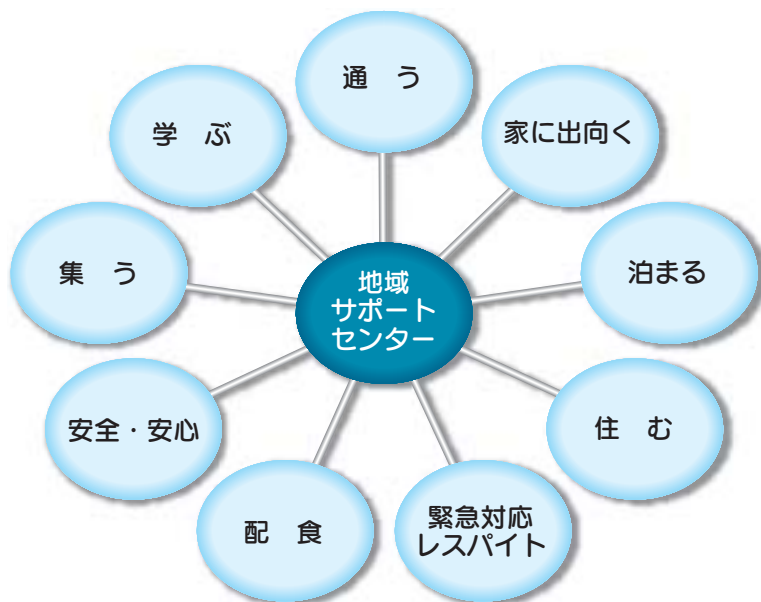
なることはできましたが、地域住民主体の施設とまでは言えない状況でした。

そこで、平成18年度から19年度にかけて、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の長寿社会福祉基金「特別分（複数年）」の助成を受けて「小規模多機能サービス拠点を核にした地域ネットワークづくり事業」を実施しました。

「しよがいのある人も子どももお年寄りもいるのが普通の社会であることを理解していただくため、地域リーダーの養成を行いました。助成金を活用して先進地域に向き、勉強させていただきました。訪問先では深夜まで激論をかわし、戻ってきてからはビデオを見るなどして勉強会を繰り返しました。実は15年度にも助成をいただいていたのですが、人材育成が中途半端だったんですね。それであと2年あれば意識を少しずつ変えて、本



コレクティブ理事の山下順子さんと  
いつでんどこでん管理者の稲富慎一さん。



当に地域に移行できるかと思い、複数年の申請をしました。助成をいただけたことで、この事業を絶対仕上げなければ！と強く思いました。先進地域を実際に見て、そこから自分たちに合うもの、必要なものを引き抜こう、という思いで進められたことが助成をいただいた大きなメリットです」と、コレクティブ理事の山下順子さんは、複数年助成申請の経緯やメリットを教えてくださいました。

先進地域等の見学も勉強会も、地域住民だけでなく、市役所の職員・地域包括支援センターの職員、社会福祉協議会の職員・医師等にも呼びかけ、一緒に取り組んだのだそうです。

### 地域住民主体のNPO 「よんなっせ山鹿」誕生

「見学に行ったことよって、地域の人たちに問題意識が芽生えました。また、この取り組みによつて、いろいろな立場の人が自分の問題として位置づけてくれるようになり、横のつながりも強固になり、とても協力的になりました。『自分たちの地域なんだから自分たちでしなきゃ』という言葉が出たときは涙が出るぐらいうれしかったです」と、山下さんは地域の人々の変化に目を細めます。

そして平成20年には、NPO「よんなっせ山鹿」を設立し、「いつでんどこでん」の運営を地域住民主体のNPOに移行させることに成功しました。

「いつでんどこでん」は、子どもからしょうがいのある人、認知症の高齢者まで、対象者を限定しないサービスを実施しています。地域の老人クラブや民生委員のサポートのもと、利用者、近所の人、職員がいつもふれあい、楽しく生活しています。

「よんなっせ山鹿」の理事長をつとめる霍口信雄さんは、平成19年まで15年間も民生児童委員をしておられました。

「霍口さんは頼もしい存在ですね。僕たちがお願いして断られることも、霍口さんに言っていたけど『はい、わかりました』って」と、「いつでんどこでん」管理者の稲富慎一さんは話します。

霍口さんも、見学や勉強会に参加してきました。「コレクティブの川原さんに『地域の顔見知りとして橋渡しを』と言われて引き受けましたが、ここは看板も扉もなく、地域に溶け込んでいるのが気に入っています。見学した施設の中に、部屋の外から鍵をかけているところがありました。事情あつてのことでも、自分はやりたくないと思いましたが、霍口さんは言います。これも、実際に見てきたからこそ実感できることなのだそうです。

「開設当初から『自分たちだけではできないから力を貸してください』とお願ひしてきたことも、今考えればよかつたのかもしれない。地域の人たちも、何をどうすればよいかわからない部分があると思うので、今後はそこを支えていきたいと思ひます。ここは十三部という地域なのですが、そこだけにとどまらず、山鹿市全体のことも考えられるようになってきたことも、助成事業の大きな成果だと思ひます」と、山下さんは振り返ります。

地域ぐるみのまちづくりは、助成によつて大きく成長しました。

#### DATA

##### 特定非営利活動法人コレクティブ

〒861-5504  
熊本県熊本市小糸山町771-5  
TEL. 096-273-1384  
FAX. 096-273-1389

##### 特定非営利活動法人よんなっせ山鹿

〒861-0533  
熊本県山鹿市古閑1312-3  
TEL&FAX. 0968-44-8305

地方分モデル事業

# 携帯電話メールによる 子育て情報配信事業

平成19年度は、過去に助成した事業のうち、特に優れた事業で、さらに発展させることが望まれる事業として「携帯電話メールによる子育て情報配信事業」が選ばれ、事業を実施しました。

実施した団体は、社会福祉法人から民間非営利団体まで多岐にわたり、実施内容に特色があります。今回は、そのうちの「社会福祉法人始良町社会福祉協議会」、「高松市PTA連絡協議会」、「特定非営利活動法人さんぴいす」の3団体にスポットをあて、実施内容を比較してみました。

## 社会福祉法人始良町 社会福祉協議会（鹿児島県）

社会福祉協議会は、住民にとっても身近な地域で活動しています。高齢者や障がい者の在宅生活を支援するため、ホームヘルプサービス（訪問介護・訪問入浴）や配食サービスなどの福祉サービスを行っているほか、多様な福祉ニーズに対応するため、墓守サービス事業やサロンサポーター

育成事業等、地域の特性を踏まえ創意工夫をこらした独自の事業に取り組んでいます。また、地域のボランティアと協力し、高齢者や障がい者、子育て中の親子が気軽に集える「サロン活動」を進めているほか、社協のボランティアセンターではボランティア活動に関する相談や活動先の紹介、小・中学校における福祉教育の支援等、地域の福祉活動の拠点としての役割を果たしています。

## 高松市PTA 連絡協議会（香川県）

高松市および直島町のPTAの発展及び学校・家庭・社会における児童・生徒の健全な育成を図ることを目的として、次の活動を行っています。

- 1 児童・生徒の健全な成長をはかるために、保護者と教師が協力し、学校・家庭・社会における教育条件の改善・充実につとめる。
- 2 単位PTA及び協議会相互の連絡・情報交換を行う。

- 3 会員研修を促進するための活動を行う。
- 4 教育の正常な進展に関する世論の形成をはかる。
- 5 教育問題要望活動を積極的に行う。
- 6 その他目的達成に必要な活動を行う。

## 特定非営利活動法人 さんぴいす（兵庫県）

「学びの原点は遊び！」を合言葉に人と遊び場作りのコーディネートをするべく、次の事業を行っています。

- 1 子どもの健全育成に関わる教育事業
- 2 情報・科学技術の活用推進事業
- 3 コミュニティ活性化事業
- 4 自立支援推進事業
- 5 市民活動支援事業
- 6 文化・伝統技術等の伝承事業

次ページは、3つの団体の特徴を表にして比較したものです。

配信の対象・内容・頻度等、団体によってそれぞれ特色がありますが、共通しているのは「不審者等の防犯情報」配信と「子育て支援情報」配信を行っている、子育て中のご家庭を情報面で支援しているところです。

これらの事業をモデルとして、携帯電話メールによる子育て情報配信が全国的に広がっていくことが期待されます。

◆実施内容の比較

項目	社会福祉法人 始良町社会福祉協議会	高松市PTA連絡協議会	特定非営利活動法人さんぴす
配信対象者	出産予定の方又は子供のいる保護者、保育施設職員、PTA関係者など地域住民、地域内外で情報を必要とする者	高松市立幼稚園の保護者および教職員	母親・シニア世代
配信内容	子育てサロン、小児科診療休日在宅医、日曜・祝日在宅医、感染症等病時の注意報・警報、ボランティア情報・募集、不審者情報、地域のイベント情報等	不審者情報、子育て支援ならびに地域における子どもの健全育成に役立つ情報	芦屋市内の主に公共施設で行われている子育て支援行事などのスケジュール、芦屋警察署と連動して防犯情報の「ミミズクネット」
配信頻度	平均7回/月（イベントや事業、不審者情報等配信状況により頻度は偏りがある）	平均8.17回/月	毎日配信
情報収集源	始良町役場、鹿児島県、鹿児島県警、イベント等依頼団体・組織、当社協	小中学校や自治会等地域の方々、警察（教育委員会と協議）	行政（子ども課・市立図書館・児童センター）・企業・NPO・警察
対応携帯メーカー	ドコモ、au、ソフトバンクその他のメーカーについても対応	携帯電話メール対応すべての機種	携帯電話メール対応すべての機種
配信事業の委託先	なし（記事・メール配信・ホームページの作成・会員管理まで全て行っている）	民間業者	なし（独自で配信）
配信事業の周知方法	全世帯へのチラシの配布、病院・行政各機関・店舗等にポスターを掲示、子育てサロンでのチラシ配布（月2回）	各幼稚園を通して	市内の街頭掲示板にポスター貼付・幼稚園・保育所へ情報誌配布
登録方法	チラシにQRコードを掲載しての登録、携帯のホームページからの登録（メールを送信後、専用ページにおいて必要事項を入力）、社協への登録依頼	携帯電話から管理者へ空メールを送り、返信されたメールより登録	携帯のホームページから空メールを送り、返信されたメールより登録
解除方法	携帯のホームページでの解除（退会理由をチェック後、メール送信）	携帯電話から管理者に空メールを送り、返信されたメールより退会	希望者が解除用アドレスへ空メールを送信して退会
配信事業の特徴等	受身でも情報を得られる「メール」により、不審者情報を配信し、児童の安全を確保するとともに、小児科診療休日在宅医や日曜・祝日在宅医、感染症等病時の注意報、イベント等の子育て支援情報を利用者の必要に合わせて提供している。また、育児については、産前から子育てサロンへの参加を促し、妊娠中の育児情報や子育てに関する情報など利用者が必要に応じて必要な情報をピックアップして情報を提供している。 この他、近年県内外で大規模災害が発生している状況に鑑み、梅雨時期の大雨や台風等による災害の発生時における情報伝達や地域の避難所の開設状況を提供し、安全確保の一助となるように努めている。 このような配信事業や情報提供を実施するために、携帯版ホームページを作成し、メール配信と同時にサイトの作成も行い、分析や統計も行っている。	当初は、地域ごとにピンポイントで不審者情報を配信することをメインとして、子育て情報の配信と幼稚園ごとの情報配信を企画した。 その中でも不審者情報が一番ニーズが高く、特に高松市内で子どもに対する傷害事件が発生した時は、たいへん役立った。 今後は登録者を増やすことと、子育て情報の配信及び各幼稚園からの情報配信を活発にできるようサポートを行いたい。	行政の子育て支援情報と警察からの防犯情報をメインに配信しているが、協賛企業をつることで地元の商店などの情報も同時に配信していくことも目指している。それにより登録者も増え地域の中で子育て支援の輪を広げていくことができるのが特徴である。